令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　643

事務事業名称		水質検査業務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部	課:　浄水課		区分	義務的事業		
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			細区分	非選択的区分		
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　1932(S07)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	水道法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	水質検査計画に基づく水道水の水質検査が行われ、安全・安心な水道水が安定供給されている状態						
	対象者(受益者)	水道を利用している市民/水道を利用している事業者						
	現状・課題	平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されている必要がある						
	事業の概要	水道事業者にとって、安全かつ清浄な水の供給を確保することは、最も基本的な義務であり、これを常時確保するためには状況に即応した水質管理が不可欠である。このため、水道法第20条第1項に基づき、水道水質の定期及び臨時の水質検査を水道事業者に義務づけている。						
	年間の主な事務	具体的な検査項目や頻度を定めた水質検査計画を毎年度策定し、計画的・継続的な水質検査を行う。また、安心して水道水を利用いただけるよう、結果は年報として取りまとめ、ホームページや行政資料コーナー等を利用して検査結果の周知を行う。水質検査結果の信頼性を確保するため、平成26年度からこれまで実施してきた第三者機関を利用した品質保証システムである水道GLPのノウハウを活かした自主運営型GLPにより、水質検査の品質管理を行う。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.10人	—	—	—
再任用	1.90人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	26,266	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		26,266	—	—	—		
	物件費計		9,747	—	—	—	12,000	81.2%
歳出計			36,013	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			9,747	—	—	—	12,000	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 水質検査計画に基づく水道水の水質検査を行う	件	1,460 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	安全・安心な水道水が安定供給される
指標	水道法の水質基準が適用される給水栓水及び中宮浄水場浄水における、水質基準適合率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	ー	ー	ー	%
算出方法	水質基準適合件数/水質基準項目検査件数×100				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	ー
指標	ー

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	ー	ー	ー	ー	ー
実績	ー	ー	ー	ー	ー
算出方法	ー				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	水道水の安全性を確保するため、2024年度の水質検査計画を事業年度開始前に策定・公表し、検査計画に従い水質検査業務を実施した。水質検査結果は、全ての項目で年間を通じて水道法が要求する水質基準を満足し、安全安心な水道水をお客様に供給することが出来た。水質検査結果は、上下水道局ホームページで公開した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	法的要求に係る水質検査を計画的継続的に実施し、水道水の安全確保に努める。また、緊急的な水源水質事故対応や市民からの相談・苦情にも迅速に対応できるよう検査業務の充実を図る。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　644

事務事業名称		水処理送配水業務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部	課:　浄水課			区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	選択的区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	水道法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	全水道施設の監視・点検等を通じた常時安定運転により、安全・安心な水道水が安定供給されている状態						
	対象者(受益者)	水道を利用している市民/水道を利用している事業者						
	現状・課題	平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されている必要がある						
	事業の概要	安全で安心な水道水を安定的に供給するための水処理送配水業務 ＜水処理送配水業務の対象となる施設(23ヵ所)＞ ・中宮浄水場、高度浄水施設、磯島取水場、配水場(13ヵ所)、配水池(3ヵ所)、穂谷加圧ポンプ室、東香里高架水槽、受水場(2ヵ所)						
	年間の主な事務	水道水の安定供給のため、以下の業務を行う。 ・直営及び一部民間委託による中宮浄水場や配水場など水道施設23ヵ所の運転業務(運転監視・施設巡回点検) ・受水場(2ヵ所)において、大阪広域水道企業団から浄水を受水 ・民間委託による夜間・閉庁日の中宮浄水場や配水場など水道施設23ヵ所の運転監視・施設巡回点検のモニタリング業務 ・民間委託による水処理過程において発生する汚泥の処理						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	3.00人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	23,064	—	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	—	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	—	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	—	—	—		
歳出 人件費計	23,064	—	—	—		
歳出 物件費計	1,205,395	—	—	—	1,394,111	86.5%
歳出計	1,228,459	—	—	—		
歳入 国庫支出金	0	—	—	—	0	
歳入 府支出金	0	—	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	—	—	—	0	
歳入 市債	0	—	—	—	0	
歳入 その他	0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	1,205,395	—	—	—	1,394,111	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 中宮浄水場や配水場など水道施設23ヵ所を運転監視、巡回点検する	日	365 日	ー 日	ー 日	ー 日

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 断水につながる重大な異常がない。

指標: 断水につながる重大な異常件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0	0	0	0	件
実績	0	—	—	—	件
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 安全・安心な水道水を市民・事業者へ安定供給する。

指標: 水処理・水運用に起因する断水に対する苦情件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0	0	0	0	件
実績	0	—	—	—	件
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

水処理・水運用に起因する断水の発生がない。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	浄水場や配水場など水道施設23か所の適切な運転監視と巡回点検を年間を通じて、実施することにより重大な異常が発生することがなく、安全・安心な水道水を安定供給を行えた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	適切な運転監視と巡回点検を実施することにより、安全・安心な水道水の安定供給を継続する。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　645

事務事業名称		水道施設維持管理業務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部	課:　浄水課			区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	全水道施設の適切な維持管理により、安全・安心な水道水が安定供給されている状態						
	対象者(受益者)	水道を利用している市民/水道を利用している事業者						
	現状・課題	平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されている必要がある						
	事業の概要	安全で安心な水道水を安定的に供給するための、浄水施設(配水池を含む)の適切な維持・管理及び修繕業務。 ＜維持管理の対象となる水道施設(23ヵ所)＞ ・中宮浄水場、高度浄水施設、磯島取水場、配水場(13ヵ所)、配水池(3ヵ所)、穂谷加圧ポンプ室、東香里高架水槽、受水場(2ヵ所)						
	年間の主な事務	・直営及び一部民間委託による水道施設の設備機器の修理・修繕を実施する。 ・各施設の環境保全のため、民間委託による除草作業を行う。 ・民間委託による機械設備及び電計設備の保守点検(法定)及び定期点検、直営による建築・土木構造物の定期点検を行う。 ・民間委託による中宮浄水場の人的・機械警備に加え、各配水場など管理施設(22ヵ所)についても機械警備を行う。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	6.00人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	46,128	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		46,128	—	—	—		
	物件費計		261,249	—	—	—	437,872	59.7%
歳出計			307,377	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			261,249	—	—	—	437,872	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 計画的に保守点検等を実施する。	回	66 回	ー 回	ー 回	ー 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 断水につながる水道施設の重大な故障の発生がない。

指標: 断水につながる重大な故障等の件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0	0	0	0	件
実績	0	—	—	—	件

算出方法: —

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—

算出方法: —

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

水道施設の故障等による断水がない。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	水道施設の設備機器の適切な維持管理及び修理、各施設の除草(面積184,828㎡)、機械設備及び電計設備の保守点検(法定)及び定期点検、中宮浄水場警備及び各配水場機械警備を実施し断水につながる故障等は発生せず、安全・安心な水道水の安定供給が行えた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	定期的な設備の保守点検、適切な維持管理及び修繕を行うことで安全・安心な水道水の安定供給を継続する。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　646

事務事業名称		水道施設整備事業						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部	課:　浄水課			区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	投資的区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	○	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○			
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	全水道施設の耐震化が図られ、安全・安心な水道水が安定供給されている状態						
	対象者(受益者)	水道を利用している市民/水道を利用している事業者						
	現状・課題	平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されている必要がある						
	事業の概要	送配水管を除く水道施設の更新・改良及び耐震化を実施する						
	年間の主な事務	・水道施設整備基本計画(短期整備計画)に基づき更新・改良工事を行う。 ・浄水課修繕計画に基づき整備を行う。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	5.60人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	43,053	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		43,053	—	—	—		
	物件費計		2,690,956	—	—	—	3,074,000	87.5%
歳出計			2,734,009	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	107,360	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		1,458,700	—	—	—	1,352,000	
	その他		260,000	—	—	—	260,000	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			1,718,700	—	—	—	1,719,360	
一般財源(物件費充当分のみ)			972,256	—	—	—	1,354,640	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 水道施設の耐震化を実施する。	件	2 件	ー 件	ー 件	ー 件
② 整備計画、修繕計画に基づき水道施設の更新・改良を行う。	件	7 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明: 全配水場等の耐震化が図られる。

指標: 配水場の耐震化率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	71.3	71.3	71.3	71.3	%
実績	71.3	—	—	—	%

算出方法: 耐震対策の施されている配水池容量/配水池総容量×100

ロジックモデル

アウトプット②

説明: 浄水場の耐震化が図られる。

指標: 浄水場の耐震化率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0	0	0	84.6	%
実績	0	—	—	—	%

算出方法: 【耐震対策の施されている浄水場容量/浄水場全容量×100】

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—

算出方法: —

アウトカム②

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—

算出方法: —

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

安全・安心な水道水を市民・事業者へ安定供給できる。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	●安全・安心な水道水の安定供給のため、指標目標の達成(上昇)を目指し、以下の水道施設の耐震化事業に取り組んでいる。 ①中宮浄水場更新事業 ②妙見山配水池更新基本設計委託 ●安全・安心な水道水の安定供給のため、水道施設整備基本計画及び修繕計画に基づき、以下の水道施設の更新・改良に取り組んでいる。 ①、市内末端水質計器修理、磯島取水場4、6、8号取水ポンプ修理、大池配水場加圧ポンプ取替、中宮浄水場2系高架水槽水位計修繕、東部長尾配水場送水流量計修繕、妙見山配水池加圧ポンプ修理、穂谷加圧ポンプ場市内末端水質計器修理 、春日受水場流入流量調節弁修繕、高度浄水施設オゾン設備修理、中宮浄水場1系汚泥引抜ポンプ修繕、排水処理施設加圧脱水機圧力調整弁取替、磯島取水場2号流量調整ゲート修理、楠葉1号揚水ポンプ修繕、管理棟3階管理者室空調機修繕、高度浄水施設1号オゾン発生装置修理 、高度浄水施設6号送水ポンプ逆止弁修繕、津田低区配水場4,5号送水ポンプ吐出弁整備工事、排水処理施設加圧脱水機及び補機類整備工事、高度浄水施設粒状活性炭入替整備委託、中宮浄水場14-17号ろ過池洗浄流量計修繕、中宮浄水場他消防設備改修工事 ②田口山配水場受変電設備更新工事 ③高度浄水施設浄水池改良工事。 ④東香里高架水槽・楠葉配水場高架水槽廃止に伴う電気計装設備改良 ⑤中宮浄水場駐輪場設置他工事 ⑥磯島取水場真空ポンプ更新 ⑦磯島取水場整備基本検討業務委託
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R7年度 取組方針	水道水の安全・安心・安定供給のため、配水池等の計画的な耐震化に取り組むと共に、重要設備については、今後も計画的・効率的な更新・改良に取り組んで行く。	R7年度 方向性	**現状維持**

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
		現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　889

事務事業名称			浄水課運営事務					
担当部署(R7年度機構)			部:　上下水道部	課:　浄水課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外			細区分	行政運営区分	
		施策目標	99.施策体系外			性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性		所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
						—			
	事業期間		事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等		決裁						
	関係附属機関等		該当なし						
	関係補助金等		該当なし			補助金性質:　—			
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態		浄水課所管事務が円滑に執行されている状態						
	対象者(受益者)		課の職員						
	現状・課題		適正かつ迅速な事務の執行が必要						
	事業の概要		浄水課所管事務の運営業務						
	年間の主な事務		・行政評価及び事業計画等に関する事務 ・課の予算及び決算に関する事務 ・消耗品等、物品の契約及び整理、保管に関する事務 ・国、府等への連絡事務 ・局内外への照会・回答処理事務 ・車両管理事務 ・出前講座及び中宮浄水場の社会見学等、水道事業のPR事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.30人	—	—	—
再任用	0.10人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	18,215	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		18,215	—	—	—		
	物件費計		1,379	—	—	—	1,481	93.1%
歳出計			19,594	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,379	—	—	—	1,481	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			―	―	―

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明

指標

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					
実績					
算出方法					

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明

指標

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					
実績					
算出方法					

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	事務内容を理解し、適正かつ迅速に処理を進めることで浄水課所管事務の円滑な執行を行った。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R7年度取組方針	浄水課所管事務の円滑な執行に向け、効率的な取り組みを行う。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	―	―	―